



2025年3月期 決算説明資料

ダイニチ工業株式会社
東京証券取引所スタンダード市場（証券コード5951）

代表取締役社長 吉井 唯
取締役管理本部長 野口 武嗣

2025年5月13日

2025年3月期（2024年4月1日-2025年3月31日）

2期ぶりの増収増益を達成

- ✓ 季節商品の需要期前半は異例の暖かさが続くなど、全国的に気温が高めに推移し、販売は伸び悩む。
- ✓ 需要最盛期以降は寒さとインフルエンザ等の感染症拡大により市場が一気に活性化し、売上が伸びる。

売上高

199.0 億円

対前期増減率 +1.3%

営業利益

13.8 億円

対前期増減率 +25.6%

経常利益

15.7 億円

対前期増減率 +21.5%

当期純利益

11.6 億円

対前期増減率 +30.7%

暖房機器

- 石油暖房機器
- 電気暖房機器
- ガス暖房機器
(受託生産)



石油暖房機器

電気暖房機器

環境機器

- 加湿器
- 空気清浄機
- 燃料電池
ユニット
(受託生産)



加湿器

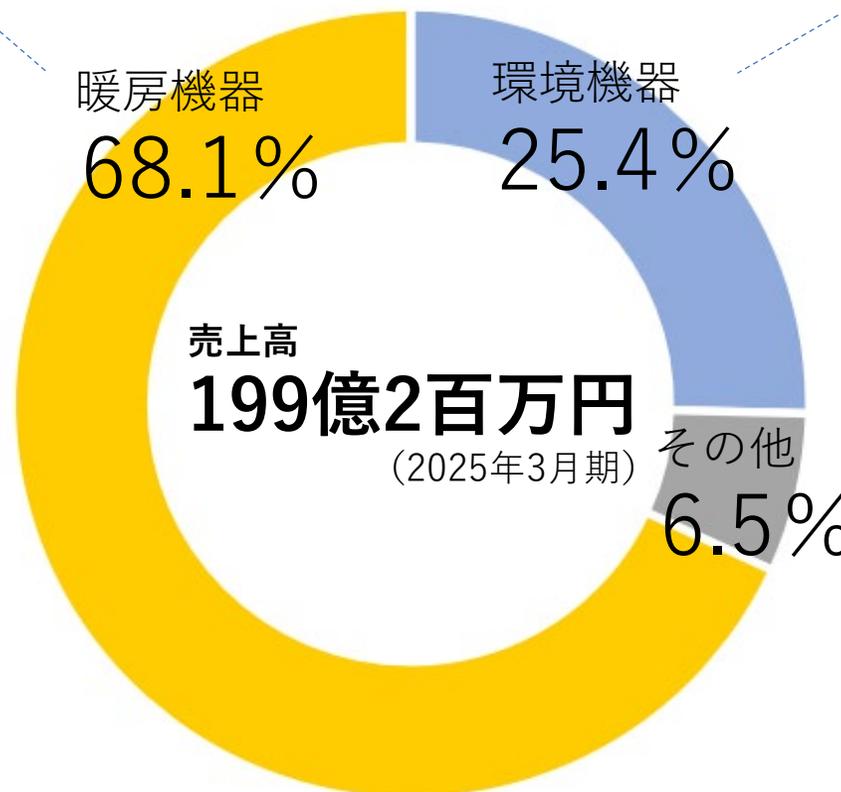
空気清浄機

その他

- コーヒー機器
- 部品 など



コーヒー機器



- ✓ [暖房機器] 需要期前半の暖かさと流通在庫過多が影響し、売上高は前年実績を下回る。
- ✓ [環境機器] 需要最盛期の感染症拡大とメディア露出の反響により、売上高は前年実績を上回る。
- ✓ [その他] コーヒー機器および加湿器フィルター等の販売は堅調に推移したものの、金型の販売が減少し、売上高は前年実績を下回る。

（単位：百万円／百万円未満切捨て）

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	19,650	19,902	251	1.3%
暖房機器	14,420	13,556	△ 864	△6.0%
環境機器	3,928	5,052	1,123	28.6%
その他	1,301	1,294	△ 7	△0.5%
営業利益	1,100	1,381	281	25.6%
売上高営業利益率	5.6%	6.9%	-----	
経常利益	1,294	1,572	277	21.5%
売上高経常利益率	6.6%	7.9%	-----	
当期純利益	888	1,161	272	30.7%

業績概要（四半期累計）

- ✓ [2Q] 前年度暖冬による季節商品の販売店仕入抑制が影響し、前年実績を下回る。
- ✓ [3Q] 2Q要因に需要期前半の異例の暖かさが重なり、前年実績を下回る。
- ✓ [4Q] 需要最盛期以降の寒さと感染症拡大、メディア露出の反響により、前年実績を上回る。

（単位：百万円／百万円未満切捨て）

	2024年3月期				2025年 3月期	2025年3月期				通期 対前期増減率
	1Q	2Q	3Q	通期	予想 [※]	1Q	2Q	3Q	通期	
売上高	1,301	7,685	18,345	19,650	20,000	1,163	6,544	17,537	19,902	1.3%
営業利益	△ 514	487	1,958	1,100	1,150	△531	103	1,878	1,381	25.6%
経常利益	△ 447	585	2,119	1,294	1,300	△463	200	2,036	1,572	21.5%
当期純利益	△ 316	397	1,499	888	900	△327	124	1,480	1,161	30.7%

※2024年5月13日開示（2024年3月期決算発表時）の数値

石油暖房機器を中心とした欧州、アジア地域への輸出

- ✓ [欧州] 暖冬に加え、天然ガスエネルギー高による販売特需が落ち着きを見せ始め、前年実績を下回る。
- ✓ [アジア] 日本国内同様、需要期前半の暖冬の影響で前年実績を下回る。

(単位：百万円/百万円未満切捨て)

	2024年3月期 実績		2025年3月期 実績		
	金額	構成比率	金額	構成比率	対前期増減率
日本	17,348	88.3%	18,044	90.7%	4.0%
欧州	1,842	9.4%	1,450	7.3%	△21.3%
アジア	459	2.3%	407	2.0%	△11.3%
合計	19,650	100.0%	19,902	100.0%	1.3%

※売上高（金額）は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

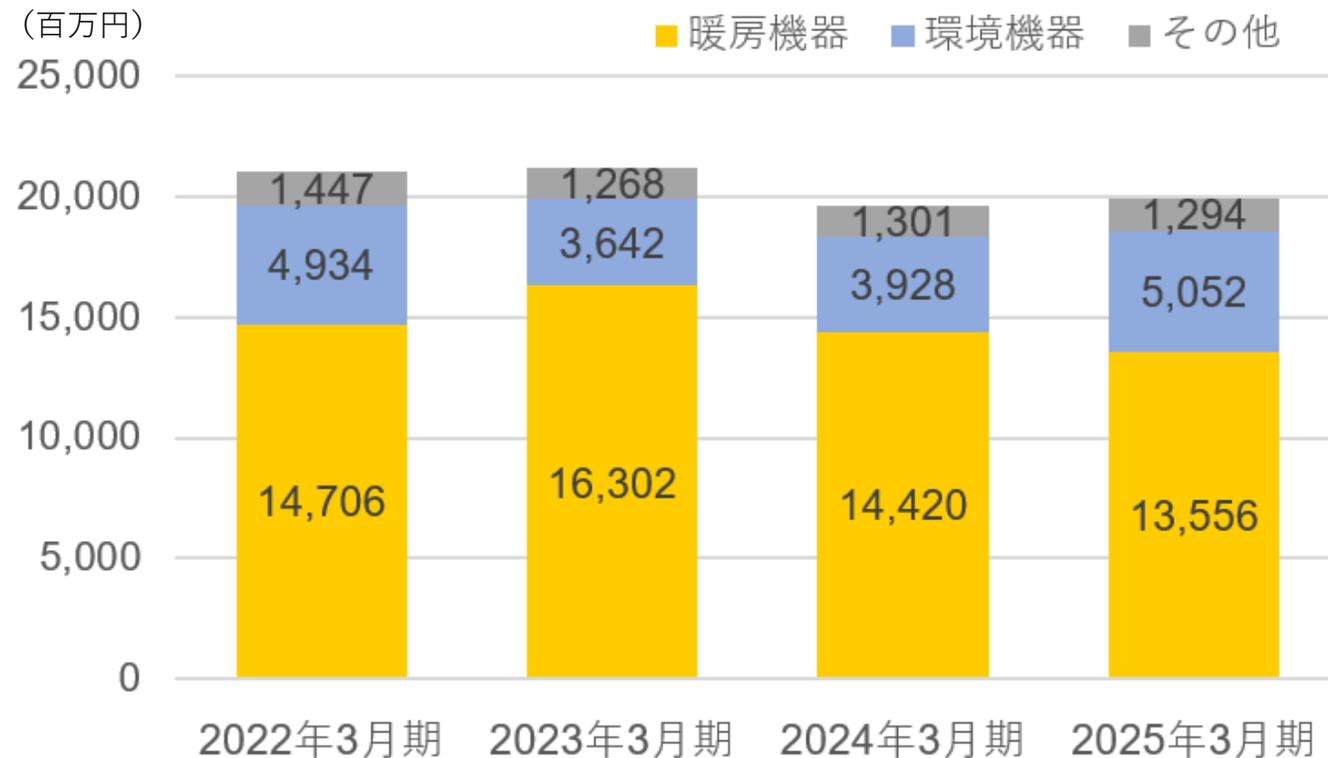
フリーキャッシュフローは1億32百万円の支出

(単位：百万円/百万円未満切捨て)

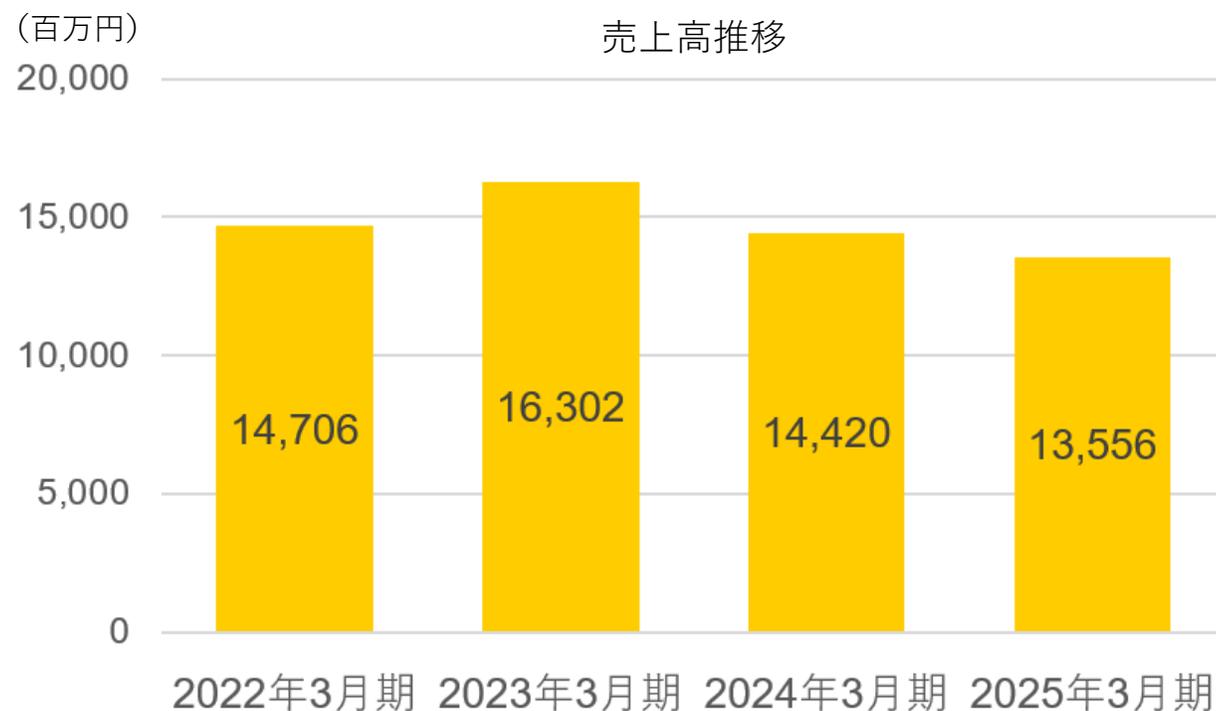
	2024年3月期	2025年3月期	
	実績	実績	対前期増減額
営業CF	111	2,821	2,710
投資CF	△ 893	△ 2,954	△ 2,060
財務CF	△ 355	△ 356	0
期首現預金残高	11,710	10,574	△ 1,136
期末現預金残高	10,574	10,086	△ 488
FCF (営業CF+投資CF)	△ 782	△ 132	650

売上高

- ✓ 暖房機器は冬季における天候の影響を受け、全般的に暖冬の傾向が強い中、2025年3月期は需要最盛期以降の寒さはあったものの、売上は前年を割り込んだ。
- ✓ 環境機器のうち加湿器はコロナ禍での特需以降、減少傾向にあったが、2025年3月期は大きく回復。



- ✓ 業界トップクラスのシェアをもつ家庭用石油ファンヒーターは、ハイグレード2タイプに業界初※のファンフィルターお手入れ機能を搭載し、利便性向上。
- ✓ WEB限定モデルは他にはないデザインが好評で、売上拡大。
- ✓ 海外への輸出は欧州、アジアともに前年実績を下回る。



※石油ファンヒーター（一般社団法人日本ガス石油機器工業会による強制通気形開放式石油ストーブ内区分）において。2024年7月1日現在。自社調べ。

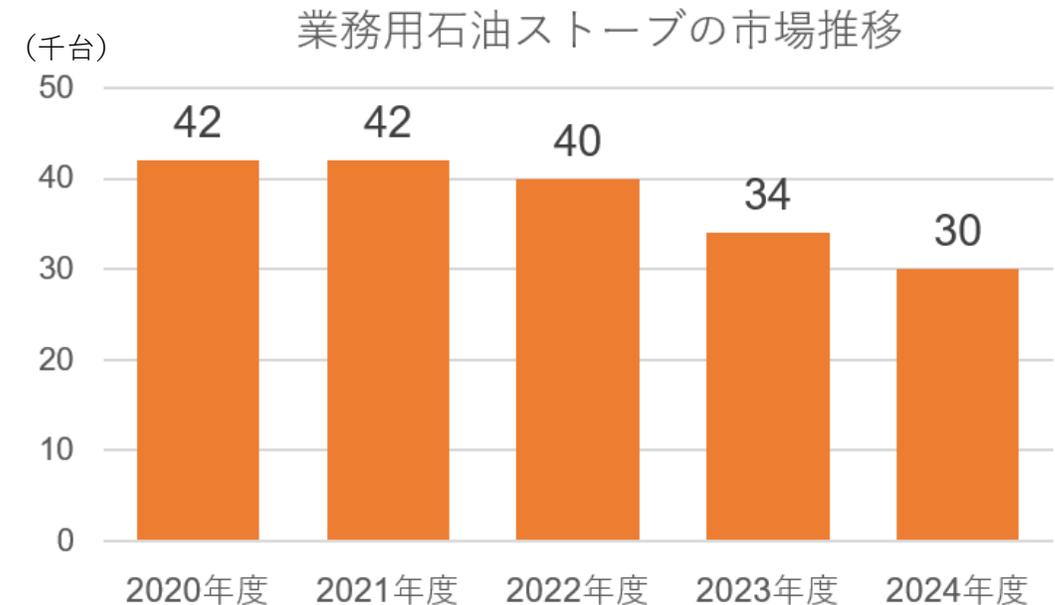
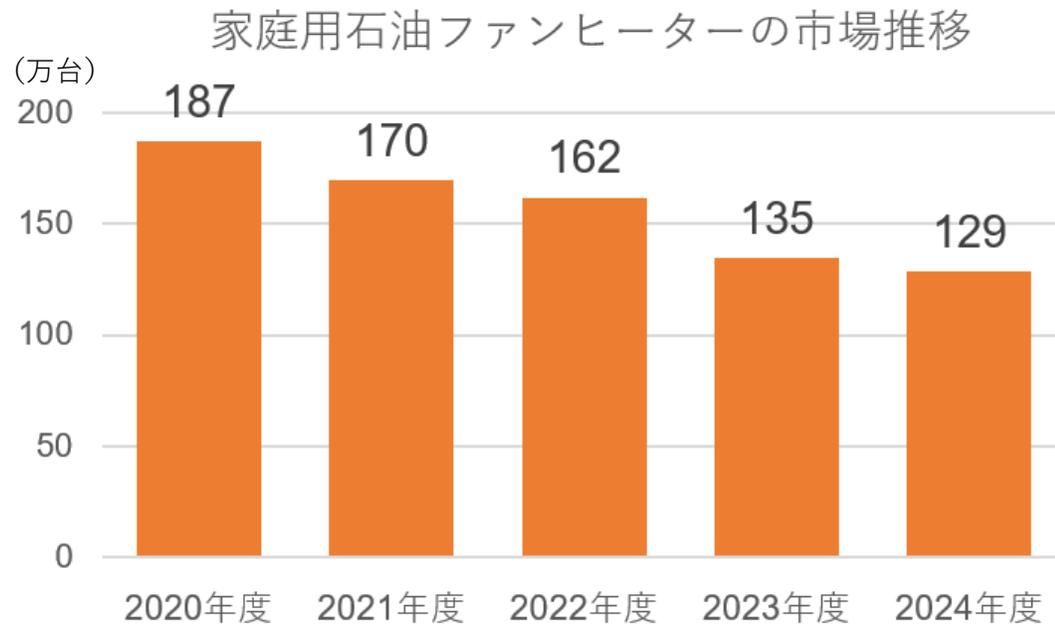


石油暖房機器

電気暖房機器

国内市場規模（一般社団法人日本ガス石油機器工業会）

- ✓ 市場は縮小傾向にあるものの、冬のメイン暖房機器として根強い需要あり。
- ✓ 買い替え、買い増し層が多く、リピート率の高い暖房機器。



【出典】一般社団法人日本ガス石油機器工業会／出荷台数／年度：4月～3月）

〔石油暖房機器〕 業界初※ ファンフィルターお手入れ機能搭載モデル発売（2024年8月）

＜対象：SGXタイプ、GRタイプ＞

※石油ファンヒーター（一般社団法人日本ガス石油機器工業会による強制通気形開放式石油ストーブ内区分）において。2024年7月1日現在。自社調べ。

- ✓ ファンフィルターの掃除がかんたんにできる機能をハイグレード2モデルに搭載。
- ✓ 掃除機不要、汚れに触れずに、手軽にお手入れできる画期的な便利機能として高い評価。



【頻度】1週間に1回

ファンフィルターを上下にスライドするだけ

【頻度】1か月に1回

ダストケースに溜まったほこりを捨てるだけ

お客様の声

製品購入者WEBモニターアンケートより
(2025年2月実施)



今までは掃除機で吸っていたので、そのひと手間がなくなり楽になりました。



汚れに気づいた時、フィルターを取り外したり、掃除機を持ち出さなくて良いのでラクです。



(上) GRタイプ
(下) SGXタイプ

第三者機関による製品評価

[石油暖房機器] 2024年度発売の最上位モデルSGXタイプが「マイベスト」で『石油ファンヒーターのおすすめ人気ランキング第1位』を獲得

マイベスト：株式会社マイベストが運営する国内最大級の商品比較サービス
発表日：2024年10月30日

- ✓ 各メーカーの商品からマイベストが選んだ11商品の中で、総合第1位を獲得。
- ✓ マイベストが定義するベストな石油ファンヒーターは「断熱性が低い木造家屋でも帰宅直後から暖かく、光熱費を抑えられる商品」。
- ✓ 評価9項目のうち、5項目でNo.1を獲得。中でも当社セールスポイントである「速暖性の高さ」「ニオイの少なさ」「給油のしやすさ」で高評価。

対象モデル：家庭用石油ファンヒーター FW-5724SGX



[石油暖房機器] オンリーワンデザインのWEB限定モデルにハイパワー機種を追加し、売上拡大 <対象：ERタイプ>

- ✓ 拡大するEC需要への対応として、これまでのパーソナルスペース向け3.2kW（木造9畳目安）に、リビング向け7.2kW（木造19畳目安）機種を追加（2024年9月発売）し、2モデルをラインナップ。
- ✓ シンプルな配色と石油ファンヒーターらしくないデザインが30～40代を中心に受け入れられ、ブラック色はいずれも完売、順調に売上を伸ばす。

石油ファンヒーター ERタイプ



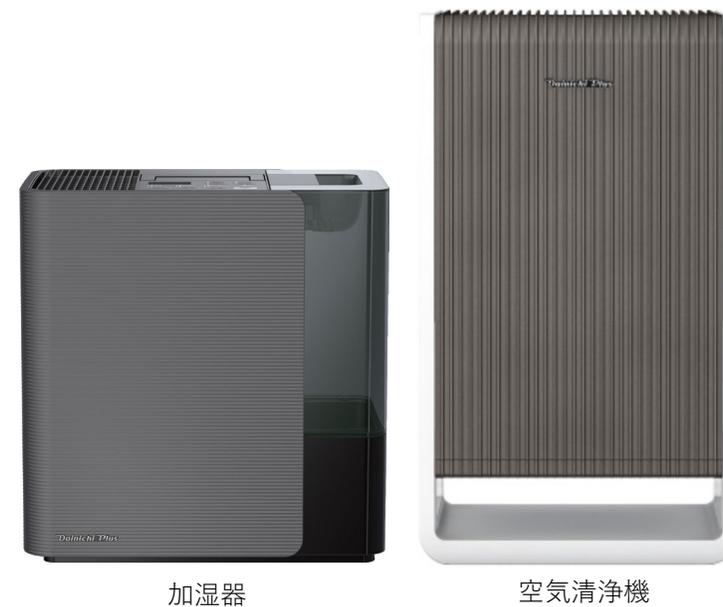
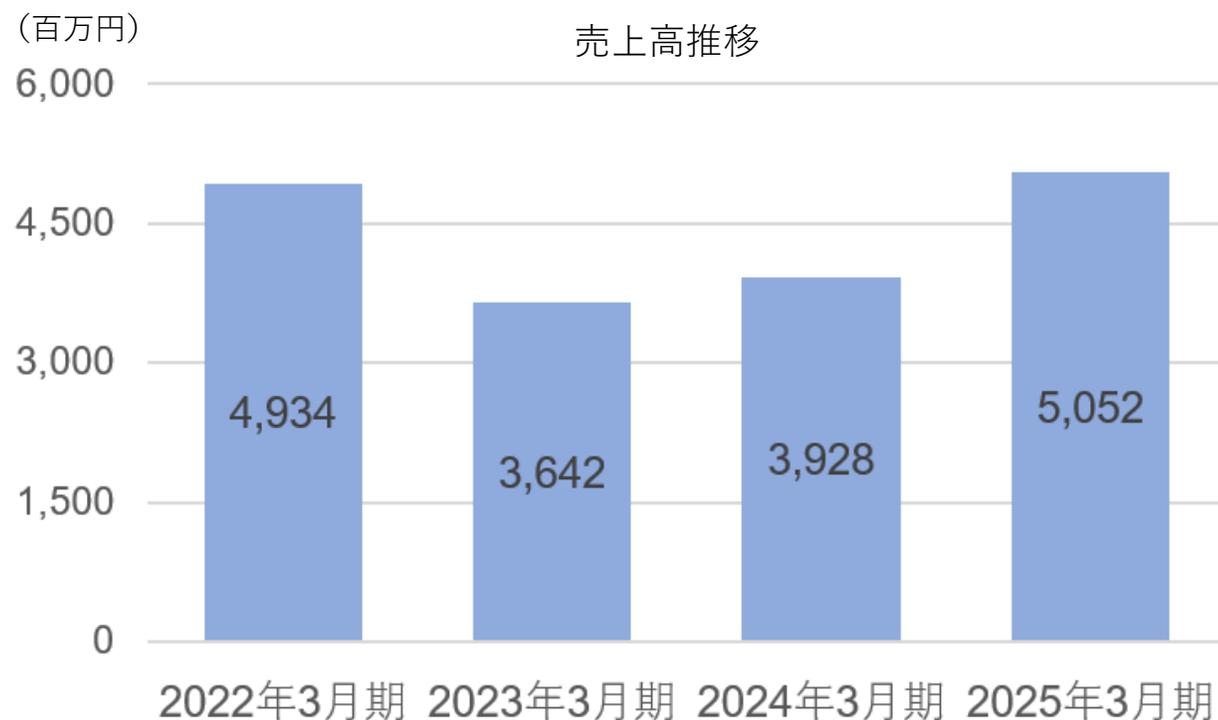
FX-32ER (プレミアムマットホワイト) FX-32ER (ストーンブラック)



FX-72ER (ストーンブラック)



- ✓ 加湿器は12月以降の空気の乾燥とインフルエンザを中心とした感染症の急激な流行拡大により、販売が好調に推移。
- ✓ 空気清浄機はメディア露出の反響もあり、売上が前年実績を上回る。
- ✓ 加湿器および空気清浄機は国内生産を生かし、市場変化に柔軟に対応した生産体制で商品を供給。



第三者機関による製品評価

【加湿器】 「家電批評」 発表の加湿器ランキング2024でRXTタイプ700mL/h機種が第1位を獲得し、『ベストバイ』を2年連続受賞

家電情報誌『家電批評2024年11月号』
(株式会社晋遊舎、2024年10月3日発売) 発表

- ✓ 「ベストバイ」とは、家電のプロが“消費者目線”の厳しいテストを実施し、編集部が「本当におすすめできる」と認めた製品に付与される賞。
- ✓ 出版社が選んだ中型クラス6台の中で第1位を獲得。
- ✓ 「加湿と静音性に優れたお手本のような加湿器」と高い評価。

受賞アイテム：加湿器HD-RXT724



[加湿器] オリジナルカラーのWEB限定モデルは販売好調、全モデル完売

- ✓ 高まるEC需要への対応に、WEB限定モデルとしてELXCタイプ（加湿量1,200mL/hクラス）を追加し、ラインナップを拡充。
- ✓ ERXTタイプは加湿量900mL/hクラスを追加し、昨年度からの加湿量500mL/hクラスでは人気色をそのままに、家電トレンドカラーを取り入れた新色追加で5色を展開。
- ✓ ダイニチWebShopでしか購入できない価値とオリジナルカラーが受け入れられ、全モデル全色完売。

ELXCタイプ

NEW



ショコラブラウン

ERXTタイプ

NEW



グレイッシュローズ

※ HD-ERXT902は★のみ販売

NEW



ナチュラルアイボリー



ウォルナットグレー



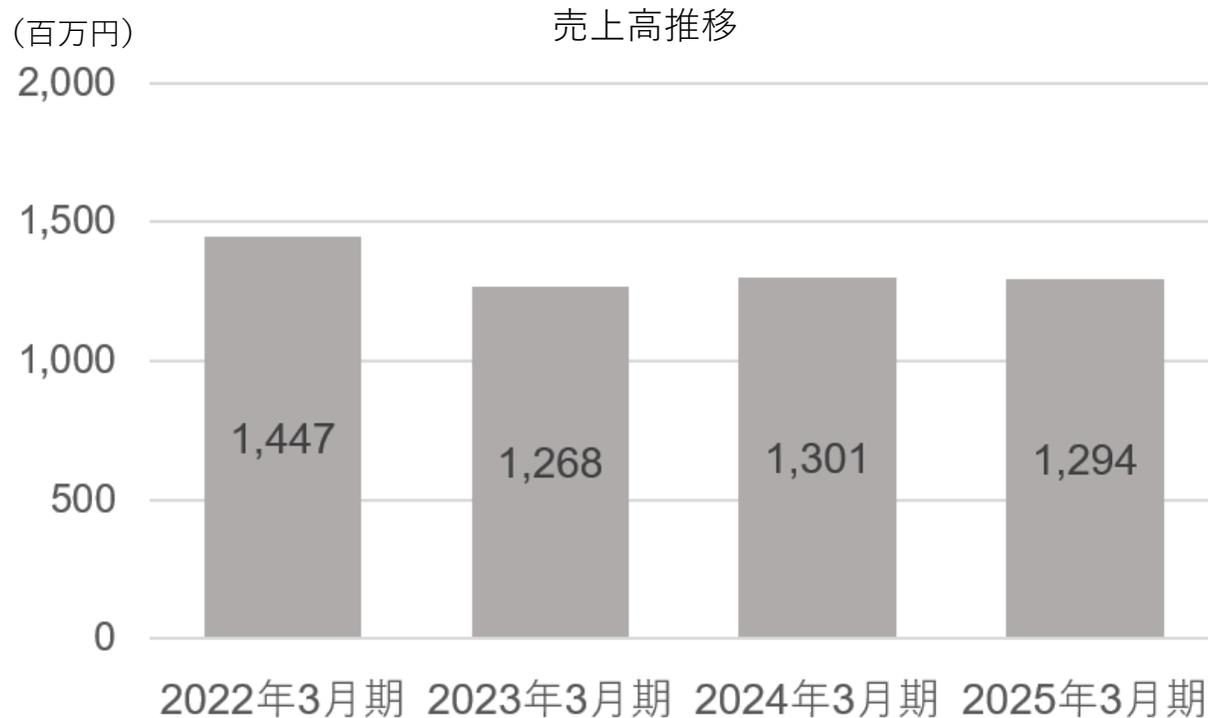
チャコールブラック



アッシュグレー



- ✓ コーヒー機器2モデルの本体カラーを約25年ぶりに一新し、発売（2024年4月）。
- ✓ コーヒー機器及び加湿器のフィルターの販売は堅調に推移したものの、金型の販売が減少し、売上高は減少。



コーヒー機器

部品
(加湿器フィルター)

[コーヒー機器] カフェプロシリーズでカラーを揃えた2モデルを発売（2024年4月）

- ✓ 発売から約25年のロングセラー、カフェプロシリーズ2モデルのカラーを一新。
- ✓ 2023年に発売したコーヒー豆焙煎機（熱風式）MR-F60A「マットブラック」に合わせたカラーにカフェプロブランド展開として統一。
- ✓ コーヒー機器はECルート限定販売ながら、売上は堅調に推移。



従来の本体カラー
（ステンレス基調）



コーヒー豆焙煎機

焙煎機能付き
コーヒーメーカー

カフェプロブランド
統一カラー
（マットブラック）



コーヒー豆焙煎機

焙煎機能付き
コーヒーメーカー

コーヒー豆焙煎機
MR-F60A



[コーヒー機器]アジア最大規模のスペシャルティコーヒーイベント「SCAJ 2024」に初出展



展示会名称：SCAJ World Specialty Coffee Conference and Exhibition 2024
開催場所：東京ビッグサイト
開催日程：2024年10月9日-10月12日（当社出展は10月11日まで）
来場者人数：75,217名（展示会全体／展示会事務局報告数より）

- ✓ 世界中のコーヒー関係者が集まる、年に一度の展示会&カンファレンス。
- ✓ コーヒー機器とコーヒー生豆を紹介。
- ✓ WEB限定販売の商品を直接見る、試す、味わう重要な場として広くアピール。
- ✓ 当社ブースへの来場者人数は約1,200名、初出展としての手応えあり。

開催期間中の当社ブース



環境機器 [加湿器]

テレビ朝日系列「アメトーク！ 年末5時間40分スペシャル」で加湿器LXタイプが登場 反響は大きく、販売を後押し

放送日：2024年12月30日
紹介コーナー：家電芸人

- ✓ 「家電芸人」コーナーで、タレントの土田晃之さんが加湿器LXタイプを紹介。
- ✓ 同番組コーナーでの紹介は今回で5回目。
- ✓ 放送開始とともに、当社公式サイトへのアクセス数が急増。
- ✓ 放送後の商品ご購入者からもうれしい声が届く。

紹介アイテム：加湿器LXタイプ



トレイから取り出して、交換するだけ
<トレイカバー>



<気化フィルター>



紹介案内

ダイニチ公式サイト



暖房機器・環境機器・その他 [企業紹介]

テレビ東京系列「知られざるガリバー」で当社独自の技術によるモノづくりを紹介 ～熱や風を操る! こだわりの独自技術! 石油ファンヒーター国内シェアトップクラス ダイニチ工業～

放送日：2025年1月4日

番組：世界に誇る知る人ぞ知る日本の企業にスポットをあて、魅力を紹介

- ✓ 石油暖房機で培ったコア技術をベースに「ダイニチでないとできない商品を作る」。
- ✓ 妥協しない真摯なモノづくりの精神と、生産、営業、物流、サービスが部門を越えて繋がる圧倒的なチームワークとで作り出される商品開発の様子を追う。
- ✓ 放送後、企業信頼性の高まりや応援の声が届く。



見逃し配信

テレ東BIZ

入会后7日間無料、
その後の視聴は有料



環境機器 [空気清浄機]

TBSテレビ系列「がちりマンデー！！」“儲かる！花粉症ビジネス”で空気清浄機が登場 放送中からサイトアクセスが急増し、販売に大きく影響

放送日：2025年3月2日

- ✓ 「花粉を超吸収！ ㊞空気清浄機はダブル式」としてハイブリッド方式に注目。
- ✓ 商品開発や集じん能力試験の様子を紹介。
- ✓ 代表取締役社長 吉井もスタジオ収録に参加し、生産体制や製品性能について話す。
- ✓ 放送直後から家電量販店やECサイトを中心に販売が加速。



見逃し配信

U-NEXT

31日間無料お試し可能、
その後の視聴は有料



暖房機器 [石油暖房機器] ・環境機器 [加湿器]

新潟発のご当地アイドル「Negicco」を起用した新テレビCMと新ラジオCMを制作 新テレビCMは2024年10月下旬から全国に向け放送

- ✓ 「石油ファンヒーター篇」と「加湿器篇」を制作。
- ✓ 「“ぬくもり”と“うるおい”の魔法をかける」をキーワードに、アイドル活動をしなから子育てをしている Negicco3人ならではのママ目線で製品の魅力を伝える。
- ✓ いずれも製品のセールスポイントであるお手入れのかんたんさを分かりやすく表現。
- ✓ 需要最盛期をピークに、全国でCMを放送し、認知拡大、商品PRを強化。

新テレビCM「石油ファンヒーター篇」



- ✓ 原材料等の上昇に合わせた販売価格の改定を進める。
- ✓ 多様化するニーズに即した商品ラインナップの拡充に努める。
- ✓ 国内生産を生かし、柔軟に対応できる生産体制で需要に応え、売上拡大に努める。

(単位：百万円/百万円未満切捨て)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	対前期増減率
売上高	19,902	20,000	0.5%
営業利益	1,381	1,400	1.4%
売上高営業利益率	6.9%	7.0%	-----
経常利益	1,572	1,600	1.8%
売上高経常利益率	7.9%	8.0%	-----
当期純利益	1,161	1,200	3.4%

(円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想
1株当たり当期純利益	71.74	74.14
年間配当金	22.00	22.00
配当性向	30.7%	29.7%

1. 本資料は既に発表した決算内容・業績予想等についてまとめ、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なる場合がありますことをご承知おきください。
3. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、正確性などについて保証するものではありません。



[お問合せ先]

URL <https://www.dainichi-net.co.jp/>

〒950-1295 新潟県新潟市南区北田中780番地6

ダイニチ工業株式会社 総務部

TEL 025-362-1101